

緊急被ばく医療訓練を実施しました

1月24日、東通村診療所と締結している「傷病者の診療に関する覚書」にもとづき、緊急被ばく医療訓練を実施しました。

当日は、発電所の管理区域*内において、放射性物質の汚染を伴う傷病者が発生したと想定し、発電所内の除染室での除染や応急処置、救急隊への傷病者の引渡しと搬送、東通村診療所での医療処置など、一連の手順について確認を行いました。

※管理区域

法令に定める放射線レベルを超えるおそれがあり、作業者の放射線被ばくが定められた限度を超えないよう管理している区域



救急隊による傷病者の搬送



東通村診療所での汚染検査

【訓練に参加して】

訓練では、診療所内のシフト養生やスタッフの汚染検査を担当しました。医療スタッフの皆さんのご協力もあり、素早くて確に対処することができました。

今後も訓練や日常業務を通じ、積極的にスキルアップに努めてまいります。



放射線管理課 鳥谷部 亮太

八戸工業大学の学生を対象に 講義を行いました

1月22日、八戸工業大学からの依頼にもとづき、同大学において学生約50名を対象に原子力に関する講義を行いました。この講義は、同大学において原子力エネルギーや放射線について履修する「原子力工学コース」の一環として行われたものです。

当日は、当発電所の小笠原和徳副所長が講師となり、日本のエネルギー事情や原子力発電の仕組み、放射線の基礎などについて講義を行い、原子力に関する理解を深めていただきました。



講義の様子

「第4回 東通村歩くスキー大会」に参加しました

1月27日、東通村砂子又地区（ひとみの里特設コース）において、「第4回東通村歩くスキー大会」が開催され、「小学生歩くスキー大会」と一般参加者による「クロスカントリースキー」が行われました。

当発電所は、実行委員として大会運営に協力したほか、12名が選手として参加しました。

新雪が眩しい雪景色の中、約5kmのコースを各々のペースで滑走し、心地よい汗を流すとともに、東通村の美しい冬の自然に親しみました。

今後も、地域行事への積極的な参加を通じて、地域の皆さまとふれあい、信頼され、親しまれる発電所を目指してまいります。



メダルと賞品の東通牛を目指して滑走する児童



クロスカントリーに参加した発電所員